



平成30年度 新任式 2018/4/6



平成29年度末の教職員人事異動で、新たに16名の教職員が千葉北高校に着任しました。

4月6日(金)に、本校体育館において新任式が行われ、荻野校長から着任された先生方の紹介がありました。

平成30年度 第1学期始業式 2018/4/6



4月6日(金)に、本校体育館において平成30年度第1学期始業式が行われました。

荻野校長が式辞で述べられた一部を紹介します。(前略)

さて、今日は、皆さんと同じ年代、普通の高校生の話をします。私の知り合いなので、彼が高校生であったのは今から40年以上も前のことだということをお断りしておきます。

彼は本を読むことが好きでしたが、その愛読書が夏目漱石、安部公房、江戸川乱歩などと、何にでも興味を持つ彼に統一性はありませんでした。

また、身体を動かすことが大好きで、高校生活の大半の時間をバレーボール部の活動に精をだしていました。

そして、3年生の夏休みを迎えました。担任の先生から進路はどうするのか聞かれた彼は困りました。好奇心旺盛な彼は、将来にやりたいことがたくさんあって、一つに絞れなかったのです。その中から選んで彼が担任の先生に言ったのは、「報道のアナウンサー」「薬剤師」「電気関係の技師」。いずれもテレビで見たり、町で見かけたり、親の姿を見たりの感覚に憧れているものでした。その話を聞いた担任の先生は、目を丸くして驚いていました。なぜなら、その目標に向かうための大学選択について、彼が考えたのは、「文学部」「薬学部」「工学部」と3つとも全く違う学部、違う入試科目だったのですから。今の世であれば、「何を考えているのかな、それは無謀」という言葉を言われかねないことでしたが、その先生は「頑張ってみろ」と言って容認してくれました。今、私が考

えても、やはり無謀以外何事もないのですが、単純な彼は「よし頑張るぞ」と、猛烈に勉強を始めました。当時は「受験戦争」「四当五落」という言葉がまことしやかに言われていまして、「四当五落」とは、4時間睡眠で頑張らないと5時間も寝ては、希望校に受からないという言葉です。

素直な彼は実行しました、3週間だけ。3週間目に彼は、睡眠不足と過労で急性の十二指腸潰瘍という病気になりました。それから食事も満足にとれず受験どころではなくなり、勉強の秋の時期を丸々つぶすことになりました。もちろん受験はしましたが、その年に希望は叶いませんでした。

ちなみに皆さんにも言うておきます。**睡眠時間を削ることは、身を削ることになります。睡眠は記憶の定着ということに大きく影響しますのでくれぐれも、定期試験でも試験前に深夜まで、徹夜して勉強することはやめてください。**

その時になって、彼は思いました。もう少し早く自分の将来をしっかりと絞って考えておくべきだったと。いかにも遅い、全く脳天気な人です。

幸いに浪人を許された彼は、考えました。本当は自分が将来何をしたいのだろうか。そして、高校の頃まで熱中できたものは部活動のバレーボールしかなかったということに気が付いたので。しかし、バレーボールで暮らしていくことは考えられません。

(中略 当時流行っていた学校の先生が主役の学園ドラマの影響もあり)彼は思いました。当時「物づくりの日本」において、「物をつくる人を育てること」がこれからも大事ではないかと。学校の先生ならばそれができる。しかも部活動の顧問になれば、熱中できるバレーボールと付き合っていけると。そういえば以前読んだ夏目漱石の「坊ちゃん」でも学校は楽しそうだったと。そこまで決まればあとは、「何を教えるか」だけ考えて、最後は大学を選択。自分の目標に向かって、まっしぐらだったと言っていました。

その後、彼は大学を経て学校の先生として今も学校で勤務しています。彼は言いました。**「高校生までの間にはとにかく色々なことに興味を持って試してみることが大切です。だけど、高校3年生の頃には、当面の目標として、具体的なものが絞られていなければ、何をやったら良いのかが定まらない。すべてのものをやり切れるものではないから、焦点を絞って挑戦すべきだと。それが高校生の進路選択だ。」**

以上が私の知り合いの高校生の頃の話です。彼は高校生の頃の複数の「夢」を卒業してから、新たに絞り込み「夢」としてそれを実現しました。皆さんも3年生の夏には、色々なことに興味を持って体験、挑戦してください。(後略)